

授業科目名	ガソリン構造	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	66 時間
担当者	宮園 昭広 盛重 幸一	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	自動車工学科 1年	開講時期		前期	後期 ○ 通年
到達目標	自動車整備士に必要な知識として、ガソリンエンジンの構造・作動及び整備について理解する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～6	総論 (内燃機関の概要、内燃機関の分類、4サイクルガソリンエンジン)			
	7～15	エンジン本体 (概要、構造・機能、整備), 演習			
	16～24	潤滑装置 (概要、構造・機能、整備), 演習			
	25～33	冷却装置 (概要、構造・機能、整備), 演習			
	34～42	燃料装置 (概要、構造・機能、整備), 演習			
	43～51	吸排気装置 (概要、構造・機能、整備), 演習			
	52～60	電子制御装置 (概要、構造・機能、整備), 演習			
	61～66	エンジンの点検・整備 (概要、点検・整備), 演習			
	評価方法	日常の授業態度, 課題の提出状況, 確認テスト, 期末試験等を総合的に判断して行う。			
教科書・参考図書	三級自動車ガソリン・エンジン (日本自動車整備振興会連合会)				
関連科目					
連絡事項	定期試験として、各期末に試験を実施 (計2回) する。 試験時間は50分とする。(計算機の持込可) 試験範囲や配布資料等については、随時連絡する。				

授業科目名	ジーゼル構造	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	66 時間
担当者	宮園 昭広	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	自動車工学科 1年	開講時期	前期	後期	○ 通年
到達目標	自動車整備士に必要な知識として、ジーゼルエンジンの構造・作動及び整備について理解する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～5	総論（内燃機関概要・分類、ジーゼル概要・作動・燃焼），演習			
	6～16	エンジン本体（概要，構造・機能，整備），演習			
	17～20	潤滑装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	21～23	冷却装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	24～34	燃料装置： 機械式燃料噴射装置（概要，構造・機能，整備）， コモンレール式噴射装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	35～40	吸排気装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	41～56	予熱装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	57～66	エンジンの点検・整備（概要，エンジンの点検・整備），演習			
	評価方法	日常の授業態度，課題の提出状況，確認テスト，期末試験等を総合的に判断して行う。			
教科書・参考図書	三級自動車ジーゼル・エンジン（日本自動車整備振興会連合会）				
関連科目					
連絡事項	定期試験として，前期末に試験を実施（計1回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。				

授業科目名	シャシ構造		必修/選択	必修	授業時間数(50分)	80 時間	
担当者	伊東 良浩		担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務		
対象学科・学年	自動車工学科	1年	開講時期	前期	後期	○	通年
到達目標	自動車整備士に必要な知識として、シャシの構造・作動及び整備について理解する。						
授業形態	○	講義		△	演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容					備考
	1～7	総論，（自動車の原理と性能・構成・安全装置），演習					
	8～21	動力伝達装置（概要，構造・機能，整備），演習					
	22～33	アクスル及びサスペンション（概要，構造・機能，整備），演習					
	34～42	ステアリング装置（概要，構造・機能，整備），演習					
	43～51	ホイール及びタイヤ（概要，構造・機能，整備），演習					
	52～62	ホイール・アライメント（概要，構造・機能，整備），演習					
	63～70	ブレーキ装置（概要，構造・機能，整備），演習					
	71～74	フレーム及びボディ（概要，構造・機能，整備），演習					
	75～80	シャシの点検・整備（概要，構造・機能，整備），演習					
評価方法	日常の授業態度，出席率，課題の提出状況，期末試験等を総合的に判断して行う。						
教科書・参考図書	三級自動車シャシ（日本自動車整備振興会連合会）						
関連科目							
連絡事項	定期試験として，各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。						

授業科目名	電気	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	45 時間
担当者	秋葉 清文	担当者実務経験		専門学校教員として勤務	
対象学科・学年	自動車工学科 1年	開講時期	前期	後期	○ 通年
到達目標	1.基本的な電気回路，電気・電子の知識についてを理解する。 2.自動車の電気装置の基本的な構造・作動及び整備について理解する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～5	基礎的な原理・法則（電気と磁気），演習			
	6～9	半導体（概要），演習			
	10～13	バッテリー（概要，構造・機能，整備），演習			
	14～16	始動装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	17～22	充電装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	23～27	点火装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	28～30	灯火装置（概要，構造・機能），演習			
	31～32	計器（概要，構造・機能，整備），演習			
	33～34	ホーン，ウインドシールド・ワイパ（概要，構造・機能，整備），演習			
	35～40	冷暖房装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	41～42	電気の配線（概要），演習			
	43～45	サーキットテスタの活用，演習			
評価方法	日常の授業態度，課題の提出状況，確認テスト，期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	日本自動車整備振興会連合会： 基礎自動車工学，三級自動車ガソリン・エンジン，三級自動車ディーゼル・エンジン， 三級自動車シャシ				
関連科目					
連絡事項	定期試験として，各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。				

授業科目名	基礎工学	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	58 時間
担当者	秋葉 清文	担当者実務経験		専門学校教員として勤務	
対象学科・学年	自動車工学科 1年	開講時期	前期	後期	○ 通年
到達目標	1.自動車の概要、構造、材料機械要素、基礎的な原理・法則、自動車の諸元について習得する。 2.基礎的な原理・法則及び自動車の諸元の項目にて自動車整備士として必要な計算を習得する。 3.二級自動車整備士として必要な製図についての一般知識について習得する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～8	自動車の概要、演習			
	9～16	自動車の構造、演習			
	17～24	自動車の材料、演習			
	25～32	自動車の機械要素、演習			
	33～40	基礎的な原理・法則、演習（熱、力、仕事とエネルギー、圧力と応力）、演習			
	41～48	自動車の諸元、演習			
	49～58	製図の基本、形体の精度、表面性状の図示方法、機械要素部品の製図、演習			
	評価方法	日常の授業態度、課題の提出状況、確認テスト、期末試験等を総合的に判断して行う。			
教科書・参考図書	基礎自動車工学(日本自動車整備振興会連合会) 自動車整備士計算の基礎と問題（公論出版）				
関連科目					
連絡事項	定期試験として、各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については、随時連絡する。				

授業科目名	機器	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	30 時間
担当者	宮園 昭広 盛重 幸一	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	自動車工学科 1年	開講時期		前期	後期 ○ 通年
到達目標	基本作業，測定作業，点検及び検査作業に用いられる主な工具，測定機器，点検用機器，その他作業器具についての基礎知識を習得する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～4	整備の基礎知識，演習			
	5～9	工具，演習			
	10～14	作業用機器，演習			
	15～19	一般作業機器，演習			
	20～25	エンジン，電気装置，車両等の点検・調整機器，演習			
	26～30	自動車検査機器，演習			
評価方法	日常の授業態度，課題の提出状況，確認テスト，期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	基礎自動車整備作業（日本自動車整備振興会連合会）				
関連科目					
連絡事項	定期試験として，各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。				

授業科目名	工作作業	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	20 時間	
担当者	盛重 幸一 秋葉 清文	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務		
対象学科・学年	自動車工学科 1年	開講時期	○	前期	後期	通年
到達目標	1.ネジを締めたり・緩めたりすることで、工具の使い方や適正なトルク感覚を身に付ける。 2.おねじやめねじの製作を行い、ネジの呼び、規格について理解する。					
授業形態	△ 講義	○ 実習	演習	※ 主たる方法：○ その他：△		
授業計画	回数	授業内容			備考	
	1～6	各工具（スパナ、メガネ、ソケット・レンチ等）を使用し、ネジの緩める方法・締め付ける方法について学ぶ。				
	7～13	トルクレンチを使い、トルク感覚を身につける。				
	14～20	ねじの製作方法について学ぶ（鉄の棒からおねじ、鉄板にめねじを製作する）。				
評価方法	日常の授業態度，出席率，課題の提出状況，期末試験等を総合的に判断して行う。					
教科書・参考図書	基礎自動車整備作業（日本自動車整備振興会連合会）					
関連科目						
連絡事項	定期試験として、前期末に試験を実施する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については、随時連絡する。					

授業科目名	測定作業	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	40 時間
担当者	盛重 幸一 秋葉 清文	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	自動車工学科 1年	開講時期	○	前期	後期 通年
到達目標	1.測定器具の名称・役目について理解する。 2.測定機器を使い、部品の測定方法について理解する。				
授業形態	△ 講義	○ 実習	演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～6	ノギスの用途, 種類と構造・機能, 取り扱い			
	7～13	マイクロ・メータの用途, 種類と構造・機能, 取り扱い			
	14～20	ダイヤル・ゲージの用途, 種類と構造・機能, 取り扱い			
	21～25	キャリパー・ゲージの用途, 種類と構造・機能, 取り扱い			
	26～40	シリンダー・ゲージの用途, 種類と構造・機能, 取り扱い			
評価方法	日常の授業態度, 出席率, 課題の提出状況, 期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	基礎自動車整備作業 (日本自動車整備振興会連合会)				
関連科目					
連絡事項	定期試験として, 前期末に試験を実施する。 試験時間は50分とする。(計算機の持込可) 試験範囲や配布資料等については, 随時連絡する。				

授業科目名	整備作業Ⅰ	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	555 時間
担当者	盛重 幸一 秋葉 清文	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	自動車工学科 1年	開講時期		前期	後期 ○ 通年
到達目標	1.エンジン、シャシ、電装品の単体を分解することで構造・機能について理解する。 2.エンジン、シャシ、電装品の制御の内容を理解し故障箇所の原因探究ができる。 3.接客応対をできるようになる。				
授業形態	△ 講義	○ 実習	演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～42	エンジン単体の分解・構造理解・組み付け			
	43～84	スタータ単体の分解・構造理解・組み付け			
	85～126	オルタネータ単体の分解・構造理解・組み付け			
	127～168	ステアリング装置単体の分解・構造理解・組み付け			
	169～210	ブレーキ装置単体の分解・構造理解・組み付け			
	211～252	電気の基礎			
	253～294	プロペラシャフト・ドライブシャフト分解・構造理解・組み付け			
	295～336	1灯式のヘッドランプの理解			
	337～378	ドア内装の分解・構造理解・組み付け			
	379～420	日常点検			
	421～462	点火装置			
	463～504	エンジン3要素			
	505～555	灯火パネル			
	評価方法	日常の授業態度，出席率，課題の提出状況，期末試験等を総合的に判断して行う。			
教科書・参考図書	日本自動車整備振興会連合会： 三級自動車ガソリン・エンジン，三級自動車ジーゼル・エンジン，三級自動車シャシ， 基礎自動車工学				
関連科目	エンジン構造，ジーゼル構造，シャシ構造，電気				
連絡事項	定期試験として，各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。				

授業科目名	ビジネスマナーⅠ		必修/選択	必修	授業時間数(50分)	20 時間		
担当者	南迫 絵理		担当者実務経験		企業にて接客・事務職，専門学校教員として勤務			
対象学科・学年	自動車工学科	1年	開講時期		前期	○	後期	
到達目標	新社会人に求められるスキルを理解し，基礎的な知識をもとに体現できるようになることを目標とする。							
授業形態	○	講義		△	演習	※ 主たる方法：○ その他：△		
授業計画	回数	授業内容					備考	
	1~4	自己分析，履歴書の書き方						
	5~6	新社会人としてのマナー						
	7~10	新入社員としての基本						
	11~12	現代社会のマナー・モラル・常識						
	13~16	来客対応（受付の要領，名刺の取り扱い），ロールプレイング						
	17~20	電話対応（受け方，かけ方，基本用語），ロールプレイング						
評価方法	日常の授業態度，出席率，課題の提出状況，期末試験等を総合的に判断して行う。							
教科書・参考図書	ソーシャル検定 基本テキスト（全国自動車大学校・整備専門学校協会）							
関連科目	特になし							
連絡事項	定期試験として，後期末に試験を実施する。 試験時間は50分とする。 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。							